No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 16年度	17年度	18年度	19年度	主な活動指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	主な成果指標 指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
1	監視・規制	宅地造成工事規制区域検討事業	建設局 土地利用調整課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】旧5町域に、宅地造成工事規制区域の指定を行い、一定規模を超える宅地造成について、許可を行うことにより、宅地造成に伴う崖崩れや土砂流出による災害を防止し、市民の生命及び財産を守り、安心安全なまちづくりを推進する。 【対象者】旧5町域の市民 【具体的な活動内容】 ・宅地造成工事規制区域検討委員会の設置（区域を適正に指定するため、学識経験者等の13名で構成：3回開催）	国補助	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 27,868 （内訳） ・決算額 19,378 ・人件費 8,490 （2.00人）	[概算コスト] 4,796 （内訳） ・予算額 446 ・人件費 4,350 （1.00人）	宅地造成工事規制区域 （単位：ha）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 14,016 [実績値] 14,016 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	安心安全なまちづくり	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	◎	－	◎	－	◎	－	F	F	**終了** （理由） 宅地造成工事規制区域が指定されることで、宅地造成に伴う崖崩れや土砂の流出による災害を防止することができるなど、事業目的を達成したため終了する。
2	監視・規制	老人医療レセプト点検事業	健康福祉局 高齢者福祉課	○事業開始年度　昭和61年度 【概　要】老人医療制度の安定的運営を確保するため、レセプト点検事業等を実施することにより、医療費の適正化を図る。 【対象者】高齢者 【具体的な活動内容】 ・レセプトの内容点検 ・疾病統計の作成 ・第三者行為等の実地調査	国補助	[概算コスト] 22,731 （内訳） ・決算額 22,304 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 23,127 （内訳） ・決算額 22,702 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 22,839 （内訳） ・決算額 22,414 ・人件費 425 （0.10人）	[概算コスト] 23,614 （内訳） ・予算額 23,179 ・人件費 435 （0.10人）	抽出された過誤調整依頼件数 （単位：件）	[目標値] 9,481 [実績値] 9,481 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12,775 [実績値] 12,775 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8,985 [実績値] 8,985 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	過誤調整決定金額 （単位：円）	[目標値] 25,263,559 [実績値] 25,263,559 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 33,968,161 [実績値] 33,968,161 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 18,676,207 [実績値] 18,676,207 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	○	○	○	△	△	△	△	△	○	－	F	F	**終了** （理由） レセプト点検は鹿児島県後期高齢者広域連合が実施主体となる予定であることから、事業を終了する。
3	社会基盤・都市施設基盤	「心の教室」整備事業	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】旧5町の中学校について、教育相談室を拡充し、「心の教室」の整備を行う。（旧市は整備済み） 【対象者】鹿児島市立中学校の児童、生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・木材を活用し、温かみと潤いのある教育環境の中でカウンセリングや教育相談を行うための「心の教室」を整備する。	国補助	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 11,372 （内訳） ・決算額 11,330 ・人件費 42 （0.01人）	[概算コスト] 9,244 （内訳） ・予算額 9,200 ・人件費 44 （0.01人）	事業対象中学校数 （単位：校）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	－	F	F	**終了** （理由） 旧5町の中学校について、教育相談室を拡充する「心の教室」の整備が19年度で完了予定であることから、事業を終了する。
4	調査・研究	学校評価実践研究事業	教育委員会 学校教育課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】文科省が示した「学校評価ガイドライン」を参考にして、学校の自己評価や外部評価の在り方について実践研究を行い、成果を県・文科省へ報告するとともに、協力校以外の学校へ普及を図る。 【対象者】実践研究協力校（小学校6校・中学校4校　計10校） 【具体的な活動内容】・協力校において、教職員による自己評価や保護者等へのアンケート実施・分析等、外部評価の実施	県補助	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 5,526 （内訳） ・決算額 4,677 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 6,870 （内訳） ・予算額 6,000 ・人件費 870 （0.20人）	協力校における自己評価等の実施回数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	学校評価の改善	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	－	F	F	**終了** （理由） 文部科学省が、実践研究により学校評価改善に資するため平成18・19年度の2年間を指定して実施した事業であり、国の事業指定年度の終了に伴い終了する。
5	施設維持・管理	施設整備事業（旧5町分）	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】旧5町の既設校について、旧市の施設整備状況に合わせるために施設整備を行う。 【対象者】鹿児島市立小中学校の児童、生徒及び教職員等 【具体的な活動内容】 ・校舎手摺整備、門扉整備、外周フェンス整備、便器清掃	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 52,867 （内訳） ・決算額 49,471 ・人件費 3,396 （0.80人）	[概算コスト] 109,114 （内訳） ・予算額 105,634 ・人件費 3,480 （0.80人）	事業対象小中学校数 （単位：校）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 33 [実績値] 33 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 20	教育環境の整備	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	－	F	F	**終了** （理由） 旧5町の既設校について、旧市の施設整備状況に合わせるための施設整備が19年度で完了予定であることから、事業を終了する。
6	社会基盤・都市施設基盤	プールサイドテント整備事業	教育委員会 保健体育課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】水泳学習中の休息時や見学者、開放時の保護者・監視員の日除け用としてプールサイドにテントを整備する。 【対象者】市立小・中・高等学校 【具体的な活動内容】 ・紫外線対策として、日除け用テントを設置する。	市単	[概算コスト] 10,250 （内訳） ・決算額 8,842 ・人件費 1,408 （0.33人）	[概算コスト] 10,239 （内訳） ・決算額 8,838 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 6,303 （内訳） ・決算額 4,902 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 4,556 （内訳） ・予算額 3,120 ・人件費 1,436 （0.33人）	設置校数 （単位：校）	[目標値] 28 [実績値] 28 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 22 [実績値] 22 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 21 [実績値] 21 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12	設置校の児童生徒数 （単位：人）	[目標値] 17,353 [実績値] 17,353 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8,156 [実績値] 8,156 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10,031 [実績値] 10,031 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6,782	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	－	F	F	**終了** （理由） 全小・中・高等学校を対象とした事業であり、整備計画が完了するため終了する。
7	啓発・広報	自然ふれあい推進事業	環境局 環境協働課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】1市5町の合併に伴い、より豊かになった本市の自然環境を広く市民に紹介するため、環境未来館ホームページ上における自然環境情報の提供などにより、環境教育・環境学習の推進を図る。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・自然ふれあいスポットの設定（18年度） ・自然環境実態調査の実施（18～19年度） ・自然環境に関する情報のデータベース化（19年度）	国補助	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 2,391 （内訳） ・決算額 1,117 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 19,729 （内訳） ・予算額 18,424 ・人件費 1,305 （0.30人）	自然環境実態調査件数 （単位：件）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	自然環境実態調査報告件数 （単位：件）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	F	F	**終了** （理由） 1市5町の合併に伴い、より豊かになった本市の自然環境を広く市民に紹介するための本市の自然環境に関する情報のデータベース化が完了予定であることから事業を終了する。

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事　業　概　要	財源	概算コスト（単位：千円）				主な活動指標					主な成果指標					達成度		妥当性		効率性			有効性		公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標名	16年度	17年度	18年度	19年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し			
8	市民参画	かごしままちづくり会議運営経費	企画部 政策推進課	○事業開始年度　平成16年度 【概　要】合併後の本市のまちづくりにおいて速やかな一体化と均衡ある発展を図るための意見・提言を頂くため、かごしままちづくり会議（学識経験者、各種団体等、公募市民などで構成）を開催する。 【対象者】各種団体等から選出された者、公募市民など 【具体的な活動内容】 ・かごしままちづくり会議の開催 ・会議で出された意見・提言等の関係部局への伝達 など	市単	[概算コスト] 4,392 （内訳） ・決算額 126 ・人件費 4,266 （1.00人）	[概算コスト] 1,941 （内訳） ・決算額 880 ・人件費 1,061 （0.25人）	[概算コスト] 1,839 （内訳） ・決算額 778 ・人件費 1,061 （0.25人）	[概算コスト] 2,205 （内訳） ・予算額 1,117 ・人件費 1,088 （0.25人）	会議開催回数 （単位：回）	［目標値］ 2 ［実績値］ 1 〈達成率〉 50.0%	［目標値］ 4 ［実績値］ 5 〈達成率〉 125.0%	［目標値］ 5 ［実績値］ 5 〈達成率〉 100.0%	［目標値］ 4	意見項目数 （単位：項目）	［目標値］ 20 ［実績値］ 7 〈達成率〉 35.0%	［目標値］ 40 ［実績値］ 43 〈達成率〉 107.5%	［目標値］ 50 ［実績値］ 38 〈達成率〉 76.0%	［目標値］ 40	○	○	△	○	○	◎	◎	◎	◎	－	F	F	**終了** （理由） 合併協議に基づき設置された当会議は、これまでの取組みにより新市の一体化に向け一定の成果があったものと考えられることから、事業を終了する。
9	市民参画	地域まちづくり会議運営経費	市民局 各支所 総務市民課	○事業開始年度　平成16年度 【概　要】合併後の本市のまちづくりにおいて速やかな一体化と均衡ある発展を図るため、旧町地域の代表者・有識者等から意見・提言をいただくとともに、「かごしままちづくり会議」に意見反映する。 【対象者】地域まちづくり会議委員 【具体的な活動内容】 ・地域まちづくり会議を開催し、毎回の会議で出された意見・提言を関係部局に伝達する。	市単	[概算コスト] 11,386 （内訳） ・決算額 1,148 ・人件費 10,238 （2.40人）	[概算コスト] 23,763 （内訳） ・決算額 2,538 ・人件費 21,225 （5.00人）	[概算コスト] 24,423 （内訳） ・決算額 3,198 ・人件費 21,225 （5.00人）	[概算コスト] 25,195 （内訳） ・予算額 3,445 ・人件費 21,750 （5.00人）	会議開催回数 （単位：回）	［目標値］ 10 ［実績値］ 10 〈達成率〉 100.0%	［目標値］ 25 ［実績値］ 21 〈達成率〉 84.0%	［目標値］ 25 ［実績値］ 25 〈達成率〉 100.0%	［目標値］ 20	意見項目数 （単位：件）	［目標値］ 100 ［実績値］ 150 〈達成率〉 150.0%	［目標値］ 240 ［実績値］ 187 〈達成率〉 77.9%	［目標値］ 250 ［実績値］ 268 〈達成率〉 107.2%	［目標値］ 200	○	○	△	◎	○	－	○	○	○	－	F	F	**終了** （理由） 合併協議に基づき設置された当会議は、これまでの取組みにより新市の一体化に向け一定の成果があったものと考えられることから、事業を終了する。